

2022年3月27日 NO.57-13

《開会 午前10時30分》		— 礼拝式順序 —	
※は一同ご起立下さい。		司式	吉田謙牧師
		奏楽	G姉妹
前 奏			
礼拝への招き	詩編 2 3 編		
挨拶			
※賛 美	詩編歌 1 3 0 (1)		
祈 禱			
罪の告白			
静 思			
赦しの宣言			
平和のしるし			— 神の招き —
照明の祈り			
聖書朗読	マタイによる福音書 2 章 1 3 節～ 2 3 節 (新約 2 頁)		
奨 励	「神の守り」		
祈 禱		A 神学生	
静 思			— 神の言葉 —
※賛 美	4 6 5 (1) (讃美歌 21)		
信仰告白	ウエストミンスター小教理問答 問 2 7 (週報裏面)		
使徒言行録			
献 金	<u>H</u> 姉妹・Y兄弟・O姉妹		
執り成し		吉田謙牧師	
主の祈り	(週報裏面)		— 感謝の応答 —
※頌 栄	2 7 (讃美歌 21)		
※祝福と派遣	吉田謙牧師		
※アーメン三唱	4 0-5 (讃美歌 21)		
報 告	礼拝当番 M執事・K姉妹		— 派 遣 —

※体調のすぐれない方は座席についたままで礼拝にご参加ください。

《罪の告白と赦し》

罪の告白への招き

司式 罪人である私たちを、神様はなお憐れみをもって招いておられます。
ですから、今、私たちは、神様の御前に入るにあたって、
自らの罪を、へりくだりと信仰をもって、神様に正直に告白いたしましょう。

罪の告白

司式 一同で罪の告白をいたします。皆様は心の中で告白してください。

一同 憐れみ深い父なる神よ。私たちは告白します。
私たちの罪は、自分一人で負うには重すぎます。
あまりにも確かで、隠すことができません。
あまりにも複雑で、ときほぐすことができません。
あまりにも深くて、はかることができません。
くちびるが震え、言葉にするのを恐れます。
私たちにふさわしいのは、永遠の火による裁きです。
変えることのできない過去の罪から解放してください。
変えることのできる未来の可能性を開いてください。
日々、キリストに似る者となるように、恵みを増し加えてください。
世の光であるイエス・キリストによって祈り願います
アーメン。

司式 しばらく目を閉じて、悔い改めと赦しの願いに心を集めましょう。
静思の時間をもちます。(40秒)

赦しの宣言

司式 神の恵みによって宣言します。
主イエス・キリストの十字架を信じるあなたがたは、
罪を犯すことがあっても新しい人です。
罪を犯すことがあっても神の子です。
神は砕かれた魂を何よりも喜んでくださいます。(詩編51:19)
主イエス・キリストは罪を犯した女に言われました。
「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。
これからは、もう罪を犯してはならない。」(ヨハネ8:11)

一同 アーメン。

平和のしるし

司式 神がキリストにあって私たちを赦してくださいました。
私たちも互いに赦しあいましょう。
主イエス・キリストの平和があなたがたと共にありますように。

一同 アーメン。

今日の集会

- ◇教会学校(オンライン併用) 9:30~10:15
 (司会) K先生
 (お話) Y先生
- ◇成人学級 10:00~10:20
- ◇奉仕前祈祷会 10:20~
- ◇A神学生送別会 礼拝後

《前週統計》

祈祷会・求道者会・教会学校はネット併用で開催

2022/3/20		男性	女性	男児	女児	合計
集	礼拝	13	19	2	2	36
	祈祷会	1	3	0	0	4
	求道者会	1(4)	0(5)	0	0	1(9)
会	オリキッズ	—	—		—	—
	礼拝の恵み	—	—			—
統	教 成人科	8	9			17
	会 幼稚科	4	4	1(0)	2(0)	3(0)
	学 小学生			2(1)	0(0)	2(1)
	校 中高生			0(0)	0(0)	0(0)
計	献 金	礼 拝		29,000		0
		教会学校		20,000		0

今週の集会

- ◇祈祷会 3月30日(水) 午前10時30分～ オンライン併用 詩編の学び
- ◇相談日 3月30日(水) 午後2時～5時 牧師相談日
- ◇求道者会 3月31日(木) 午前10時30分～ オンライン併用 (家庭集会と合流)

次週の集会 (4/3) 受難節(レント) 第五主日

- ◇教会学校 (司会) U先生 *礼拝後に進級式をします。
 (ネット) (お話) K先生
- ◇成人学級 (担当) 吉田謙牧師 午前10時～10時20分
- ◇礼拝 (説教) 吉田謙牧師「一粒の麦」
 (聖書) ヨハネによる福音書12章20節～26節
 (旧約聖書) 簡易礼拝のため省略
 (新約聖書) 簡易礼拝のため省略
 (讃美歌) 詩編歌130・513(21)・28(21)
 (司式) 吉田謙牧師 (奏楽) K兄弟
 (献金) H姉妹・U姉妹・Y姉妹
 (礼拝当番) M執事・H姉妹
- ◇全体祈祷会 礼拝後 ◇教会学校教師会 全体祈祷会后 ◇小会 午後1時30分～
 *聖餐式は中止です。

お知らせ

- ◇大会執事活動委員会からの要請により、ウクライナ難民支援の募金を募ります(受付のレプタ箱)。ご協力よろしくお願ひします。締切:4月24日(日)
- ◇4月10日(日)より一年間、J神学生(4年生、宝塚教会員)が派遣神学生として当教会に出席なさいます。どうぞ、よき交わりをお願いします。
- ◇川瀬弓弦教師のハンガリー宣教のための自由献金を募ります。献金してくださる方は、受付にある献金袋でお願いします。
- ◇礼拝に出席する際には必ずマスクを着用し、一階でアルコール消毒をして下さい。また密集を避けるため基本的には一つの机に二人ずつ座るようにして下さい(家族は例外)。
- ◇ラジオ伝道番組「キリストへの時間」(ラジオ関西 558KHz 日曜日午前7時30分～45分)を聞きましょう。4月3日放送予定:吉田隆先生(甲子園伝道所)「苦難から希望へ」
- ◇掲示板
 - *中会中高生会春のキャンプの案内が届いています。参加費:6,500円
 日時:3月28日(月)～29日(火) テーマ:「キングダム、平和、KAGAWA」
 - *神戸改革派神学校より入学式、及び開講講演会の案内が届いています。
 4月5日(火)午前10時30分～(入学式)午後1時30分～(講演会) 講師:袴田康裕先生
 - *川瀬弓弦教師の「ハンガリー宣教とウクライナ 平和の祈り」集会の案内が届いています。
 日時:4月23日(土)14時～15時半 場所:園田教会

*全国青年リトリートの案内が届いています。場所：雀のお宿キリスト教会館円

日時：5月3日(火)～5日(木) テーマ：「集まって僕らはナニをスル？」

講師：吉岡契典先生・吉田隆先生 対面参加：18歳-29歳 オンライン参加：18歳-49歳

◇今週の牧師予定

3月28日(月)午後1時30分～ 神戸改革派神学校理事会(オンライン)

3月の祈祷課題

- ①主の受難と復活を覚えて(受難節 3/6-4/16, イースター 4/17)。
- ②ウクライナの平和のために祈りましょう。 ③神学校のために。 ④闘病中の方々に覚えて。
- ⑤愛する者を天に送り、悲しみの中にあるご遺族のために。 ⑥求道者の方々に覚えて。
- ⑦人生の岐路に立つ青少年たちのために。 ⑧川瀬弓弦先生のハンガリー宣教のために。
- ⑨結婚された兄弟姉妹のために。
- ⑩但馬みくに伝道所の新会堂改修工事のために。 ⑪滋賀摂理教会の金原堅二先生のために。
- ⑫関西地区伝道協議会のために。 ⑬川島利子姉妹のために。
- ⑭新型コロナウイルス感染症予防のために。 ⑮年間教会標語「教会に生きる喜び」
- ⑯大阪北部地震、北海道地震、熊本地震、東日本大震災の復興のために。
- ⑰滋賀摂理教会・千里山教会・園田教会・神戸長田教会・恵泉教会・板宿教会・南与力町教会のために。
- ⑱3月生まれの方のために。

今月の掃除当番 K姉妹、N姉妹

【本日の聖書日課のテーマ】「主の変容」(受難節第4主日)

旧約聖書 出エジプト記24章12節～18節：山上の栄光

新約聖書 マルコによる福音書9章2節～10節：山上の変貌

主イエスの姿が突如として変貌し、栄光に輝くのを三人が目撃します。夢か^{うつつ}現か。ある意味、福音書の記述の中でここだけ浮いているような箇所です。いったいどういうことなのでしょう。一つの読みは、「イエスの正体」を一瞬垣間見ることが許され、しかし「復活するまでは、今見たことをだれにも話さな」(＝復活後に話せ)と命じられたのは、教会にとっての共同の記憶を準備するためであった、というものです。

記憶とはパーソナルなものですが、個人的な記憶を支える根底の部分に共同の記憶というものが存在し、それが共同体を形成する目に見えない力となります。旧約箇所の出エジプト24章はシナイ山での契約締結の場面ですが、出エジプトはイスラエルにとってまさに共同の記憶です。約束の地に定住した人々には、エジプト脱出の直接の体験者はいなかったのですが、人々はあたかも自分がそこにいたかのように、「私たちはエジプトから導き出され、海を渡ったのだ」と語り継ぎ、それがイスラエルを形成したのです。こういう共同の記憶は神信頼を育む大きな力となります。そういう意味で、山の上で三人が目撃したことは、私たち教会全体の生きて働く記憶なのです。

律法を象徴するモーセ、預言を象徴するエリヤ。この二人が主イエスと語っているという光景に圧倒されたペトロは、「仮小屋を建てましょう」という愚かなことを言い出します。すると神は雲ですべてを覆い、「これはわたしの愛する子。これに聞け」と言われます。雲が消えると元の姿に戻った主イエスがいるだけ。エリヤとモーセは役目を果たし終えて消えたのです。「ただイエスだけが」共におられます。この含蓄の深さを覚えたいと思います。「わたしの愛する子。これに聞け。」これこそキリストの弟子の使命です。

主イエスは山を下ります。そこには14節以下が示すように無力な人間の問題が待っているのです。山を下りるとは、その問題の渦中へとあえて入っていくことなのです。主イエスは「自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」と招かれます。主に従う教会は苦難の道を進むのです。しかし主は教会のためにともし火を与えてくださいました。栄光に輝くキリスト。「これに聞け」という御声。その確かな記憶が、ここぞという時、力を発揮する生きた共同の記憶です。私たちは知っています。罪人たちの中に踏み込み、遂には十字架にまで至る受難のイエスこそ、栄光の勝利者キリストであるということ。山の上で頂いたこのともし火ゆえに、私たちは忍耐をもってゴール目指して走り続けるのです。

ウエストミンスター小教理問答

問27 キリストの低い状態とは、どの点にあったか。

答 キリストの低い状態とは、彼が生まれられたこと、しかも、貧しいさまに生まれられたこと、律法の下におかれ、この世の悲惨と神の怒りと十字架ののろいの死とを忍ばれたこと、葬られてしばらくの間、死の力の下にとどまられたことにあった。

使徒信条

われ天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、
全能の父なる神の右に座したまえり、
かしこより来りて生ける者と死ねる者とを審きたまわん。
われは聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。アーメン。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らを、こころみにあわせず、悪より救い出したまえ。
国と力と榮えとは、
限りなく、なんじのものなればなり。アーメン。